

## 調査概要

### ◆ 調査の目的

都内在住外国人の増加により、日本人と外国人が地域で共に暮らし、活躍していく多文化共生社会を実現するため、都民を対象にやさしい日本語についての意識調査を実施した。さらに効果的なやさしい日本語普及啓発事業に資することを目的に本調査をおこなった。

### ◆ 調査項目

- ①外国人との接触機会と意思疎通の図り方
- ②やさしい日本語の認知度と認知経路
- ③やさしい日本語の使用頻度と使用場面
- ④やさしい日本語の使用意向
- ⑤災害や行政の情報におけるやさしい日本語の取組の認知度と認知経路、推奨度

### ◆ 調査対象

16歳以上の都民

### ◆ 調査手法

インターネットモニターを対象とするWeb調査

	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
調査時期	3/18~3/22	2/27~3/3	2/15~2/19	3/7~3/12	3/7~3/12
回収数	2,303	2,333	2,344	2,276	2,272

### ◆ サンプル属性の内訳

16歳以上の都民均等割り付け（下表は各年のサンプル属性内訳）

		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
		n=2303	n=2333	n=2344	n=2276	n=2272
20代以下男性	(実数)	202	207	217	201	201
	(%)	8.8	8.9	9.3	8.8	8.8
30代男性	(実数)	224	235	222	211	223
	(%)	9.7	10.1	9.5	9.3	9.8
40代男性	(実数)	235	235	241	233	229
	(%)	10.2	10.1	10.3	10.2	10.1
50代男性	(実数)	237	237	241	234	234
	(%)	10.3	10.2	10.3	10.3	10.3
60代以上男性	(実数)	240	248	250	239	234
	(%)	10.4	10.6	10.7	10.5	10.3
20代以下女性	(実数)	217	216	217	213	209
	(%)	9.4	9.3	9.3	9.4	9.2
30代女性	(実数)	237	233	233	229	230
	(%)	10.3	10	9.9	10.1	10.1
40代女性	(実数)	235	238	237	235	236
	(%)	10.2	10.2	10.1	10.3	10.4
50代女性	(実数)	237	239	240	240	237
	(%)	10.3	10.2	10.2	10.5	10.4
60代以上女性	(実数)	233	243	243	237	239
	(%)	10.1	10.4	10.4	10.4	10.5
20代以下その他	(実数)	6	2	2	4	
	(%)	0.3	0.1	0.1	0.2	
30代その他	(実数)			1		
	(%)			0.0		

## 過年度比較資料

### やさしい日本語の認知度（全体）

- ▶ やさしい日本語の認知度について、2022年から2026年にかけて比較した。
- ▶ やさしい日本語の認知度は、2022年(36.8%)、2023年(40.2%)、2024年(41.0%)、2025年(48.0%)、2026年(52.3%)となり、2022年に比べて15.5ポイント増加した（グラフ1参照）。
- ▶ 2026年をベースに回答の内訳をみると、「よく知っている」は2025年比0.9ポイント増加、2024年比2.2ポイント増加と毎年微増傾向にある。「ある程度知っている」は、2025年比3.1ポイント増加、2024年比5.3ポイント増加している。「あまり知らないが、見たこと、聞いたことがある」は2022年から2026年にかけて、毎年微増傾向にある。一方で、「全く知らない」は2022年から2026年にかけて、毎年減少傾向にあることがわかる。
- ▶ 全体を通して、やさしい日本語の認知度が上昇傾向にあることがわかる（表1参照）。

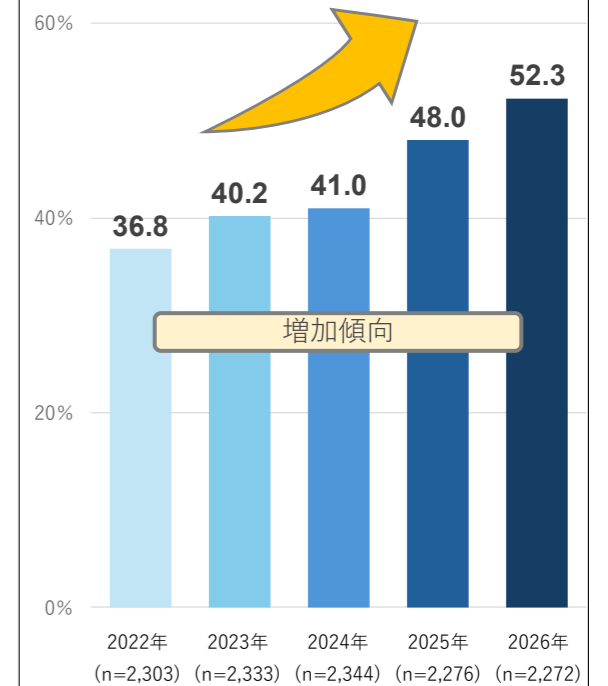
表1 やさしい日本語の認知度（全体）

	n数	よく知っている	ある程度知っている	あまり知らないが、見たこと、聞いたことがある	全く知らない	知っていると回答した人の合計
2022年	2,303	4.0%	12.5%	20.2%	63.2%	36.8%
2023年	2,333	3.8%	14.9%	21.6%	59.8%	40.2%
2024年	2,344	5.1%	14.6%	21.2%	59.0%	41.0%
2025年	2,276	6.4%	16.8%	24.8%	52.0%	48.0%
2026年	2,272	7.3%	19.9%	25.1%	47.7%	52.3%
2025年との比較		↗ 0.9%	↗ 3.1%	↘ 0.3%	↘ -4.3%	↗ 4.3%
2024年との比較		↗ 2.2%	↗ 5.3%	↘ 3.9%	↘ -11.3%	↗ 11.3%
2023年との比較		↘ 0.2%	↗ 2.4%	↘ 0.4%	↘ -12.1%	↗ 12.1%
2022年との比較		↘ 0.3%	↗ 7.4%	↘ 4.9%	↘ -15.5%	↗ 15.5%

↑ 比較する年に比べ5%以上高い    ↗ 比較する年に比べ差が0%~5%    ↘ 比較する年に比べ差が0%~5%    ↓ 比較する年に比べ5%以上低い

※2022年から2025年までは「よく知っている」「ある程度知っている」「見たこと、聞いたことがある」「全く知らない」の4項目で聴取、2026年は「よく知っている」「ある程度知っている」「あまり知らないが、見たこと、聞いたことがある」「全く知らない」に4項目で聴取した結果である。

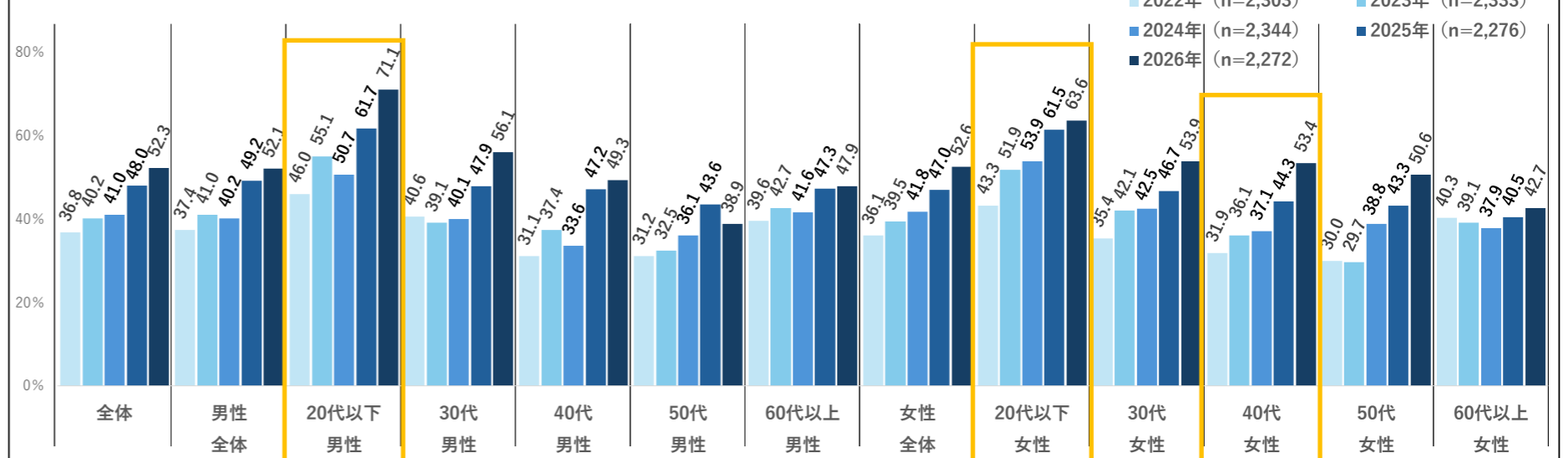
グラフ1 やさしい日本語の認知度



### やさしい日本語の認知度（性年代別）

- ▶ やさしい日本語の認知度について、性年代別に2022年から2026年にかけて比較した。
- ▶ 性別でみると、男性全体では、2025年から2026年は2.9ポイント増加、2024年から2026年は11.9ポイント増加している。特に「20代以下男性」は2025年から2026年にかけて9.4ポイント増加しており、他の性年代と比べて、最も高い割合となっている。一方で、「50代男性」は2025年から2026年にかけて4.7ポイント減少しており、男性の中で唯一認知度が減少した年代である。
- ▶ 女性全体では2022年から2026年にかけて年々認知度が増加しており、2024年から2026年で10.8ポイント、2025年から2026年で5.6ポイント増加している。特に「20代以下女性」と「40代女性」において増加傾向が高く、「20代以下女性」では2022年から2026年で20.3ポイント増加している。また「40代女性」では、2022年から2026年で21.5ポイント増加している（グラフ2参照）。

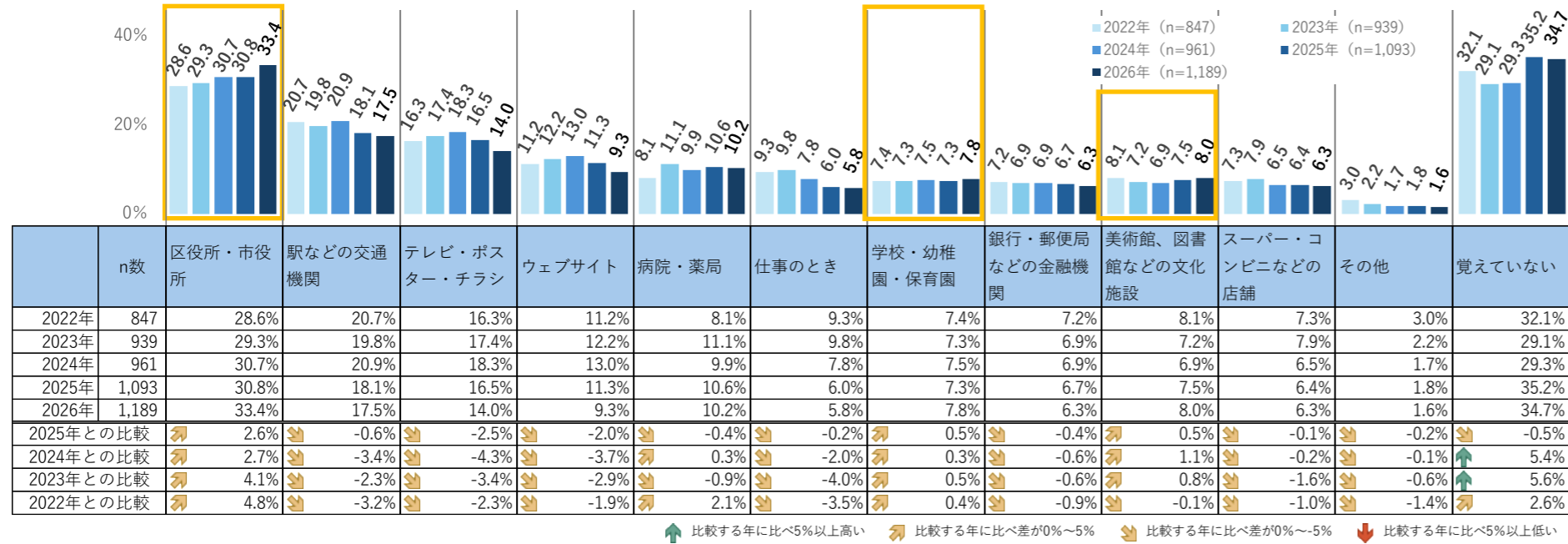
グラフ2 やさしい日本語の認知度（性年代別）



### やさしい日本語の認知経路

- ▶ やさしい日本語を知っていると回答した人に、やさしい日本語の認知経路を尋ね、2022年から2026年にかけて比較した。
- ▶ 全体を通して大きな動きは見られないものの、「区役所・市役所」の2026年の比率は2022年から4.8ポイント増加している。また、「学校・幼稚園・保育園」「美術館、図書館などの文化施設」での認知がそれぞれ微増傾向にあり、活用の場の広がりがうかがえる。(図表1参照)

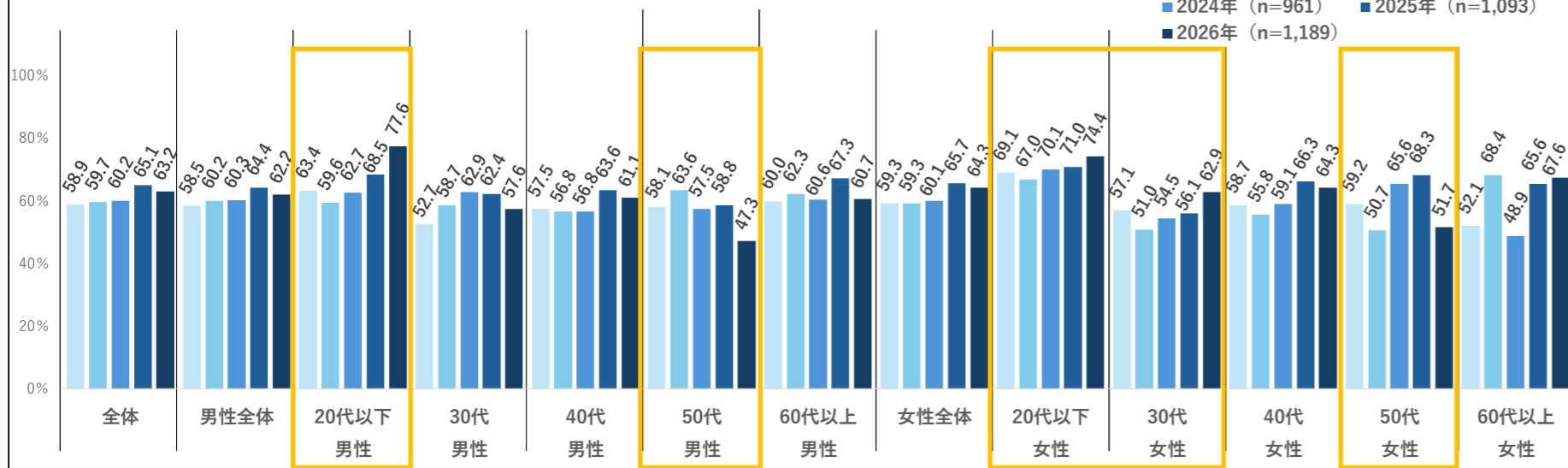
図表1 やさしい日本語の認知経路 (複数回答可)



### やさしい日本語の使用頻度

- ▶ やさしい日本語を知っていると回答した人にやさしい日本語の使用頻度について尋ね、「よく使う」「ときどき使う」「何度か使ったことがある」を合わせた「使用する(計)」を2022年から2026年にかけて比較した。やさしい日本語の使用頻度は、2022年(58.9%)、2023年(59.7%)、2024年(60.2%)、2025年(65.1%)、2026年(63.2%)となっており、2025年から2026年にかけて若干減少したものの、全体で見ると微増傾向にあるといえる。
- ▶ 2026年をベースに性別で見ると、男性全体は横ばい状態であるが、「20代以下男性」では2025年比9.1ポイント増加、2023年比18.0ポイント増加しており、他の年代と比較しても最も高い割合である。一方、「50代男性」では2025年比11.5ポイント減少している。女性全体も横ばい状態であるが、2025年比で「20代以下女性」は3.4ポイント、「30代女性」は6.8ポイント増加している一方、「50代女性」は16.6ポイント減少している。(グラフ3参照)。

グラフ3 やさしい日本語の使用頻度



### 災害や行政の情報をやさしい日本語で伝える取組の認知度

- ▶ やさしい日本語を知っていると回答した人に、災害や行政の情報をやさしい日本語で伝える取り組みを知っているか尋ね、2022年から2026年にかけて比較した。
- ▶ やさしい日本語の取組の認知度は2022年(58.2%)、2023年(57.3%)、2024年(59.7%)、2025年(61.7%)、2026年(64.8%)で、2022年から2026年まで微増傾向である(グラフ4参照)。
- ▶ 2026年をベースに回答の内訳をみると、「よく知っている」は2025年比1.1ポイント増加、「ある程度知っている」は2024年比3.2ポイント増加、2025年比4.3ポイント増加、2023年比4.0ポイント増加、「あまり知らないが、見たこと、聞いたことがある」は2025年比2.3ポイント減少している。一方で、「全く知らない」は2025年比3.1ポイント減少しており、全体を通して、毎年減少傾向にある。やさしい日本語の取組の認知度は微増傾向にあることがわかる(表2参照)。

グラフ4 災害や行政の情報をやさしい日本語で伝える取組の認知度

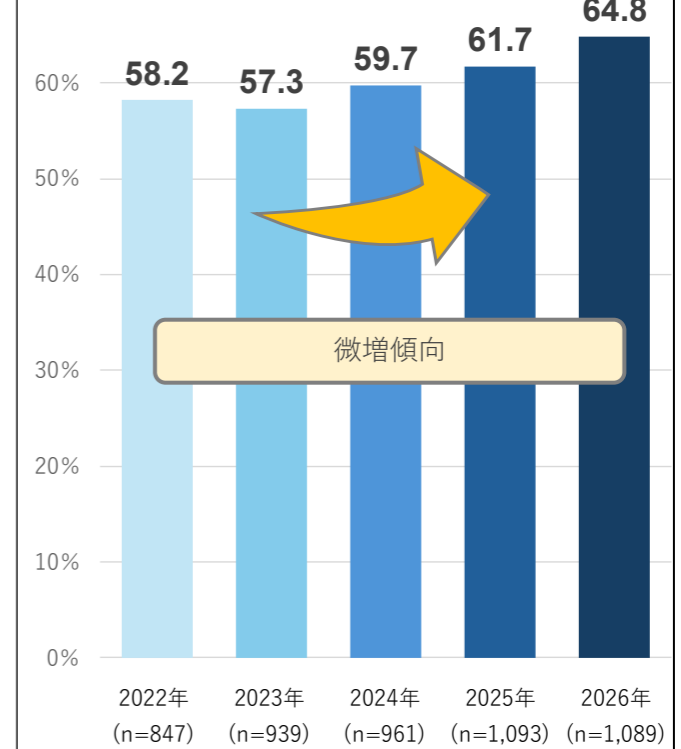


表2 災害や行政の情報をやさしい日本語で伝える取組の認知度

	n数	よく知っている	ある程度知っている	あまり知らないが、見たこと、聞いたことがある	全く知らない	知っていると回答した人の合計
2022年	847	6.4%	17.4%	34.5%	41.8%	58.2%
2023年	939	3.8%	16.9%	36.5%	42.7%	57.3%
2024年	961	5.8%	17.7%	36.2%	40.3%	59.7%
2025年	1,093	5.9%	16.6%	39.2%	38.3%	61.7%
2026年	1,189	7.0%	20.9%	36.9%	35.2%	64.8%
2025年との比較		▲ 1.1%	▲ 4.3%	▼ -2.3%	▼ -3.1%	▲ 3.1%
2024年との比較		▲ 1.2%	▲ 3.2%	▼ 0.7%	▼ -5.1%	▲ 5.1%
2023年との比較		▲ 3.2%	▲ 4.0%	▼ 0.4%	▼ -7.5%	▲ 7.5%
2022年との比較		▲ 0.6%	▲ 3.5%	▼ 2.4%	▼ -6.6%	▲ 6.6%